

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	BU-DRS901		S.No.	
お買い上げ日	年	月	日	
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年			
お客様	お名前	様		
	ご住所	〒		
	TEL ()			
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。		
故障内容記入欄				

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. 店舗で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

YUPITERU

DRIVE RECORDER

ドラカメ

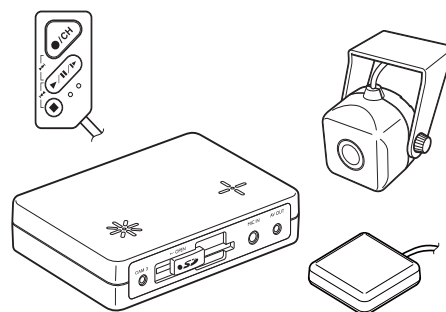
BU-DRS901

取扱説明書

12V、24V車対応

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を20秒間記録します。



株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1458-B

目次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
機能	4
各部の名称と働き	5
本機を使用する	8

映像を記録する

連続記録	10
イベント記録	11
静止画記録(最大 3,000 件)	12

専用ビューアソフトの使いかた

準備する	13
専用ビューアソフトをインストールする	13
専用ビューアソフトのバックアップについて	16
記録データの準備	17
記録された映像を見る(イベント記録)	19
記録された映像を見る(連続記録)	23
静止画記録を見る	25
記録した映像を保存する	26
記録した映像を印刷する	29
履歴を見る	31
Google Earth 用のデータに変換する	33
設定を変更する	35
カメラ設定	35
記録設定	37
静止画記録設定	38
モニター出力設定	39
加速度センサー設定	39
システム	40
SD カード初期化	41
録画データ削除	42
インフォメーション	44

その他

SD カードフォーマットについて	45
記録映像を見る	
(オプション AV ケーブル OP-23 を使用)	46
カメラ切り替えと設定内容の確認	
(オプション AV ケーブル OP-23 を使用)	47
加速度センサーの設定(初期化)	48
GPS 測位機能について	50
故障かな?と思ったら	51
仕様	52
アフターサービスについて	54
保証書	裏表紙

視野角

131°

96°

30万画素

最低照度

1LUX.

SD対応

対応

- 最大4台のカメラで、映像と音声を記録
- セレクトタイプだから、好きな場所に自在に取り付け可能
- フロントガラスに合わせて、カメラ角度無段階調整
- GPS内蔵で車速、時刻、自車位置情報を記録
- 記録を開始する衝撃感度を5段階で設定可能
- 電源喪失時も安心、バックアップ機能
- 2GBのSDカード付属
- パソコンで確認できる専用ビューアソフト付属
- IR(赤外線)カメラ対応(オプション)

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

➡ この記号は、関連するページを示します。

●本機、電源コードについて

⚠警告



水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。



穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。



本機および付属品を改造しない……火災や感電、故障の原因となります。



サービスマン以外の人は、絶対に本機および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



煙が出ている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに電源コードを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



指定された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。



ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かない…本機を傷めます。



万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

●使用について

⚠注意



動作確認のための公道での危険な運転は行わないでください。



本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。



お手入れの際は、電源コードを抜く…感電の原因となります。



運転者は走行中に操作しない…走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。また、手動録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

使用上のご注意

●本機を取り付けての違反に関しましては、弊社では一切の責任を負いかねます。日ごろからの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

録画についての注意

●本機は連続記録や衝撃（加速度）を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

●本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

●本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。

●本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。

●本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。

●LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。

●録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。

●運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

●本機の設定（感度設定など）や記録した映像を見るためには、下記スペックを満たすパソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。

- ・解像度1024×768ピクセル以上の表示ができるMicrosoft Windowsを搭載したパソコン。
- ・2GB以上対応のSDカードリーダーライター。

●2GB以上のSDカードに対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、SDカードリーダーライターは必要ありません。

SDカードについての注意

●パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

●付属のSDカード、または別売品のSDHCカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

●付属のSDカードを取り出すときは、本機の電源が切れている（録画ランプが消灯している）ことを確認してから、SDカードを取り出してください。SDカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。

●付属のSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、付属のSDカードや本機の故障の原因となります。

取り付けについての注意

●本機は取付・接続説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。

●走行中に本機が落下しないように付属のコードクリップセットでコードを固定し、取り付けてください。

●他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

GPS測位についての注意

●電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの耐熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPSが測位できない場合があります。

●走行速度や距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

走行中の映像や音声、急ハンドル、急ブレーキなど危険な運転、事故の瞬間などを記録することができます。本機では、連続記録、イベント記録、静止画記録が行えます。

連続記録とは

- ・連続した録画映像を SD カードに記録できます。
走行中の映像を常に記録できます。

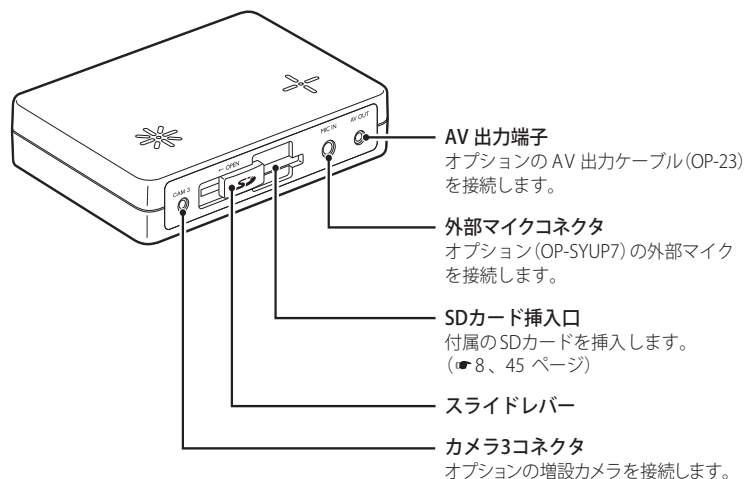
イベント記録とは

- ・事故発生時など本機内蔵のセンサーが衝撃を検知した場合や、リモコンでの録画操作を行うと、20 秒間の映像と音声を SD カードに記録します。

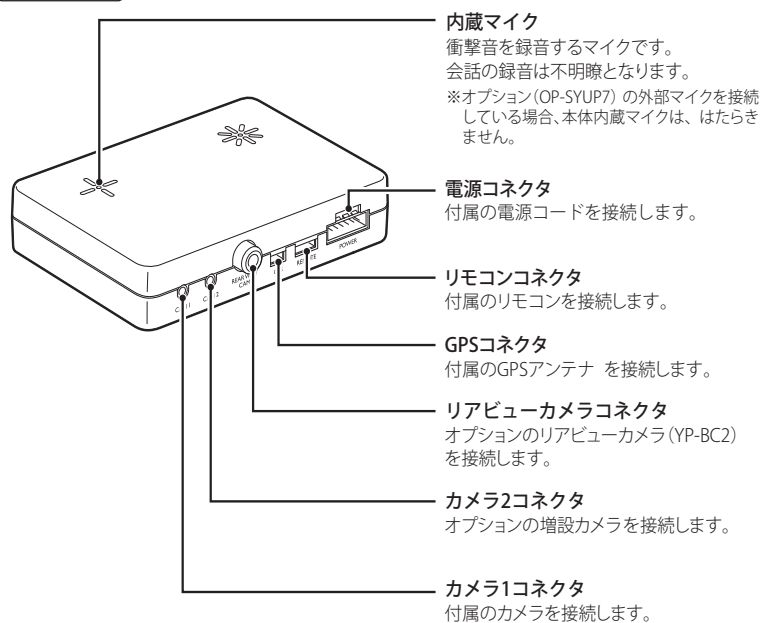
静止画記録とは

- ・リモコンで静止画記録の操作をすることに静止画像 1 枚と 5 秒間の音声を記録します。
- ・設定により 5、10、15、30 分間隔で自動的に静止画を記録できます。

本体正面



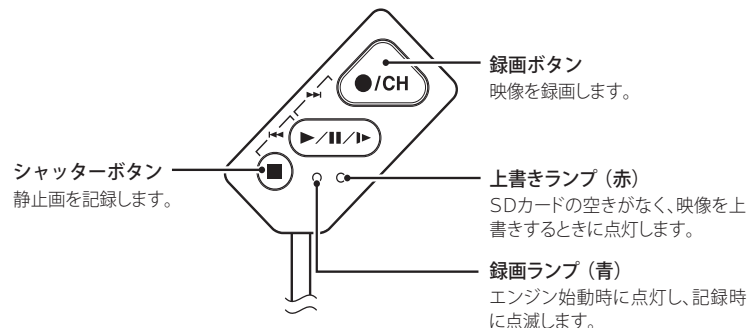
本体背面



各部の名称と働き

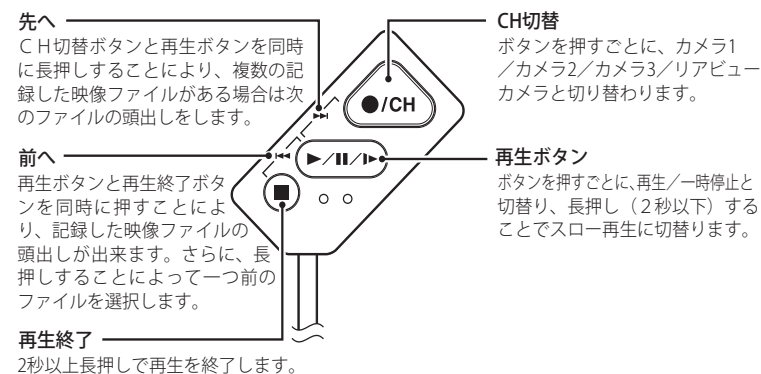
リモコン

◆リモコンで映像や静止画を記録する場合



◆カーナビなどの外部モニターで再生する場合 (「映像を見る」▶ 46 ページ)

※ オプション AV 出力ケーブル (OP-23) で RCA 外部入力端子を備えた機器と接続をしている場合、本機で記録した映像を外部モニターで見ることができます。



付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

● リモコン	1
● カメラ	1
● 電源コネクタ	1
● GPS アンテナ	1
● SD カード (2GB)	1
● 専用ビューアソフト (付属の SD カード内に収納)	
● 取り付けテープ式	2
● コードクリップセット	7
● 取付説明書	1
● 取扱説明書・保証書 (本書)	1

※ 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

オプション (別売品)

● OP-DRCM1 (増設カメラ)	18,900 円 (税込)
カメラを 2 台増設でき、室内などの映像も同時に記録できます。	
● OP-DRCM2IR (赤外線カメラ)	31,500 円 (税込)
夜間でも撮影可能な IR (赤外線) カメラです。	
※ 1 つの本体に対して、同時に 2 台以上は使用できません。	
● YP-BC2 (リアビューカメラ)	16,800 円 (税込)
車両後方に取り付け、駐車時の映像を記録できます。	
ギアをバック (R) に入れることで録画を開始します。	
※ YP-BC2 は、12V 車専用です。	
● OP-23 (AV 出力ケーブル)	2,625 円 (税込)
AV 出力端子と接続し、記録した映像をカーナビやカーテレビなどのモニターで再生することができます。	
※ RCA 外部入力端子を備えた機器に接続できます。	
● OP-SYUP7 (システムアップセット)	9,800 円 (税込)
車速やブレーキ、左右ウインカーの信号を記録するための配線と外部マイクがセットになっています。	
● BU-DRS8 (8GB SDHC カード)	10,500 円 (税込)
● BU-DRS16 (16GB SDHC カード)	21,000 円 (税込)

※ 付属、または別売オプションの SDHC カード以外は使用しないでください。

※ オプションのカメラを追加し、多チャンネルで記録した画像を再生する際、パソコンの能力によっては、動作の遅延や音飛びが発生することがあります。できるだけ、処理能力の高いパソコンをご使用ください。

<推奨>

- ・ CPU : インテル Core 2 Duo E6400 2.13GHz 以上、または、同等以上のプロセッサー
- ・ メモリー : 1GB 以上

本機を使用する

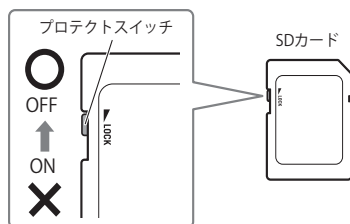
電源が切れている(エンジン停止)状態で、SD カードが装着されているか確認する

工場出荷時、SD カードは本体に装着されています。きちんと装着されているか確認いただき、きちんと挿し込まれていない場合は、下記方法でSD カードを装着してください。

※ SD カードのプロテクトスイッチを OFF にして使用してください。

SD プロテクトスイッチについて

SD カードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



※ SD カードが挿入されていない状態で電源が入る(エンジンを始動する)と、本体より『ピーーーーー』音が鳴ります。音が鳴る場合、いったん電源を切り(エンジンを停止させ)、リモコンの上書きランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯している状態でSD カードを挿入してください。

SD カードの入れかた

必ず、電源が切れ(エンジン停止)、リモコンの上書きランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯している状態で操作してください。

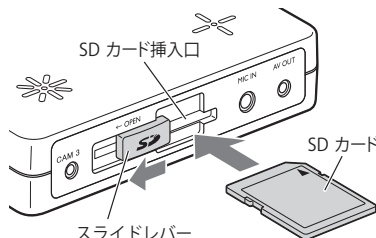
1 SD カード挿入口のスライドレバーを OPEN の方向(←)にスライドさせる

2 SD カードの向きに注意し、『カチッ』と音がするまで押し込む

3 スライドレバーを矢印と逆の方向にスライドさせる

※ スライドレバーは必ずロックするまでスライドさせてください。

衝撃時などにSD カードが飛び出すと、SD カードが故障する可能性があります。



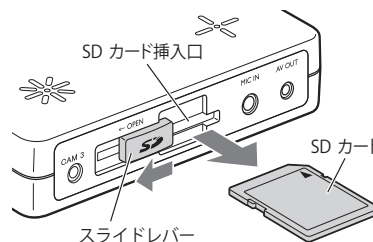
SD カードの取り出しかた

必ず、電源が切れ(エンジン停止)、リモコンの上書きランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯している状態で操作してください。

1 SD カード挿入口のスライドレバーを OPEN の方向(←)にスライドさせる

2 SD カードの後ろを手で軽く押し込み、手を離す

※ SD カードが少し飛び出しますので手で取り出します。



● エンジンを始動すると…

エンジン始動(ACC ON)後、リモコンの録画ランプ(青)と上書きランプ(赤)が点灯し、その後、点滅に変わります。

本機で映像を記録できる状態になると上書きランプ(赤)が消灯し、録画ランプ(青)だけが点灯します。

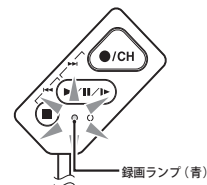
※ 地下駐車場などGPSを測位できない場合、録画ランプ(青)が点滅します。GPS測位ができると録画ランプ(青)は点滅から点灯に変わります。

購入後、初めて使用する場合

障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させてください。

●GPSを測位すると…

リモコンの録画ランプが青点滅から青点灯に変化します。



測位後に電源を切る(エンジンを停止させる)ことで、GPS情報による日時の修正が行われます。

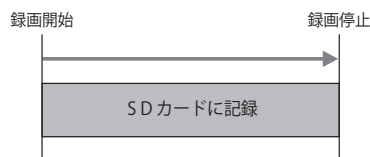
再度、電源を入れ(エンジンを始動させ)、リモコンの録画ボタンを押し映像を録画し、専用ビューアソフトがインストールされているパソコンで確認をしてください。

専用ビューアソフトを使って、記録モードを変更することができます。(● 35 ページ)

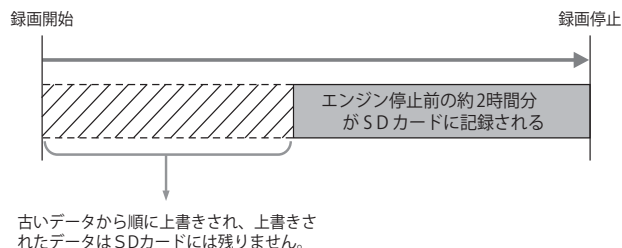
連続記録

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像と音声を SD カードに連続記録します。記録時間は、使用するカメラの数や設定内容などによって異なります。(● 35 ページ)
(カメラ 1 台、高画質、10 コマ/秒、サイズ L) で、付属の SD カード (2GB) に約 2 時間の連続記録が可能です。

◆ 録画開始から録画停止まで 約2時間以内の場合



◆ 録画開始から録画停止まで約2時間を超える場合

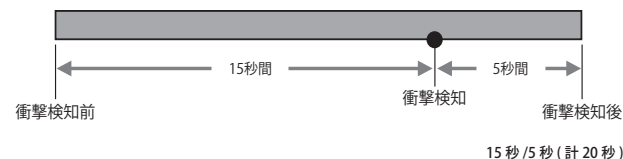


イベント記録

内蔵の加速度センサーが一定以上の衝撃を検知した場合や、リモコンで録画操作を行うと、イベントの前後の映像と音声を SD カードに記録します。

衝撃を検知して自動録画 (20 秒)

加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ランプ (青) が点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、記録が行われます。記録が終了すると録画ランプ (青) が点滅から点灯に戻ります。記録時間は、使用するカメラの数や設定内容などによって異なります。(● 35 ページ)
※ 記録時の警報ブザーは専用ビューアソフトの操作で消すことができます。(● 40 ページ)



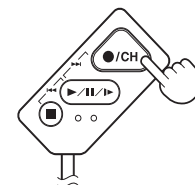
ワンタッチ操作による手動録画 (20 秒)

リモコンの録画ボタンを押すことで、ボタンを押した前後の映像と音声を SD カードに記録します。

1 リモコンの録画ボタンを押す

録画ランプ (青) が点灯から点滅になり、本機より『ピー』と音が鳴ります。

※ 記録時の警報ブザーは専用ビューアソフトの操作で消すことができます。(● 40 ページ)



バックアップ機能について

重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能によりコマ数を落として映像を記録します。

※ 電源投入後2分間は、バックアップ機能は働きません。

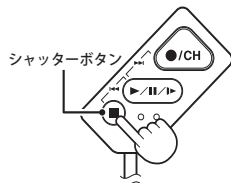
静止画記録（約 3,000 件）

リモコンのボタン操作で静止画像 1 枚と音声 5 秒を記録できます。

1 リモコンのシャッターボタンを押す

録画ランプ(青)が点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、記録が行われます。

- ※ 200 件以上撮影した場合は、上書きされ、古いデータから順に書き換わります。
- ※ 静止画としての記録は専用ビューアソフトで設定できます。
- ※ 記録時の警報ブザーは専用ビューアソフトの操作で消すことができます。(P.40 ページ)



本機で記録した映像は、専用ビューアソフトを使い、パソコンで確認することができます。

※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

準備する

解像度 1024 × 768 ピクセル以上が表示できる Microsoft Windows XP または Vista、7 を搭載したパソコン。
2GB 対応の SD カードリーダーライター。

対象 OS
・ Windows XP
・ Windows Vista
・ Windows 7

- ※ 2GB の SD カードに対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、SD カードリーダーライターを接続する必要はありません。
- ※ 専用ビューアソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。
- ※ オプションのカメラを追加し、多チャンネルで記録した画像を再生する際、パソコンの能力によっては、動作の遅延や音飛びが発生することがあります。できるだけ、処理能力の高いパソコンをご使用ください。

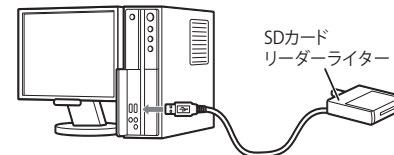
<推奨>

- ・ CPU：インテル Core 2 Duo E6400 2.13GHz 以上、または、同等以上のプロセッサー
- ・ メモリー：1GB 以上

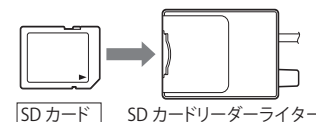
専用ビューアソフトをインストールする

1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する

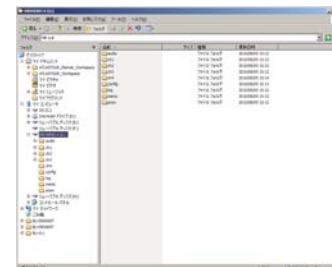
※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、SD カードリーダーライターを接続する必要はありません。



2 付属の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する

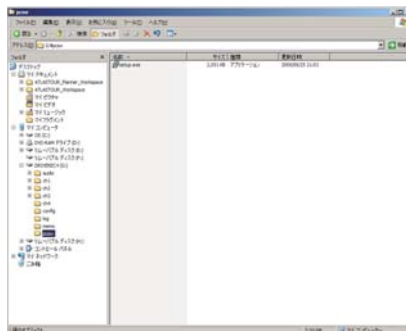


3 エクスプローラなどを起動し、「DRIVEREC4」と表示されているドライブを展開し、[pcsw] をダブルクリックする



4 [setup.exe] をダブルクリックする

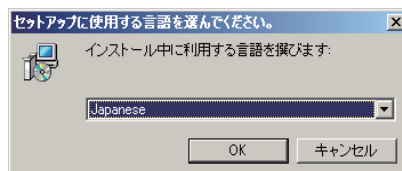
※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。



5 セットアップに使用する言語を選択する

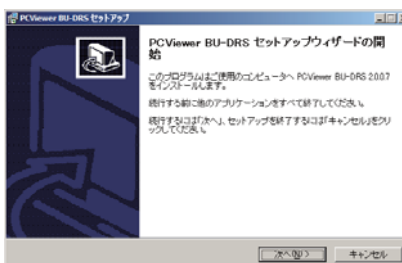
言語を選択して [OK] をクリックします。Japanese を選択すると日本語、English を選択すると英語表示画面になります。

※以降は Japanese を選択した手順です。



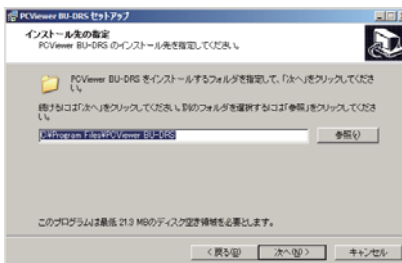
6 セットアップウィザードの開始

[次へ] をクリックする



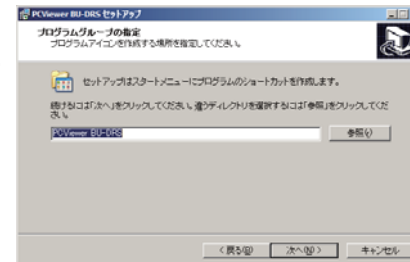
7 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ] をクリックします。



8 プログラムグループの指定

プログラムグループが表示されますので、[次へ] をクリックします。



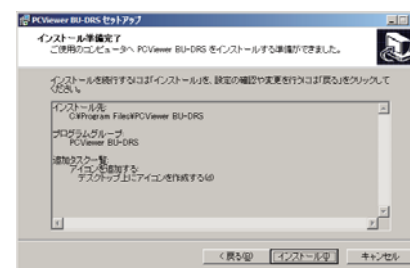
9 追加タスクの選択

デスクトップ画面にショートカットアイコンを作成します。確認して「次へ」をクリックします。デスクトップ画面のアイコンをクリックするだけで、いつでも専用ビューアソフトを起動できます。



10 インストール準備完了

[インストール] をクリックします。



11 セットアップの完了

[完了] をクリックします。

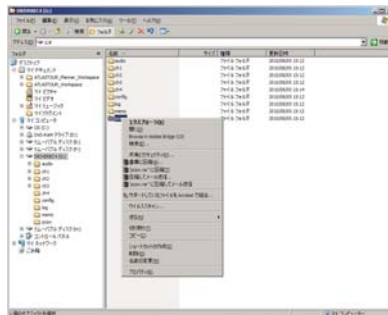


専用ビューアソフトのバックアップ(コピー)について

専用ビューアソフトは付属の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

- 1 エクスプローラなどを起動させ、「DRIVEREC4」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」上で右クリックし、「コピー」を選択する



- 2 デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する



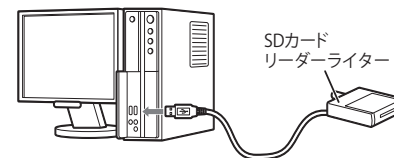
- 3 保存の完了

デスクトップに「pcsw」のフォルダがコピーされます。

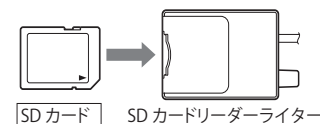
記録データの準備

- 1 SD カードリーダーライターを専用ビューアソフトがインストールされているパソコンに接続する

※ 2GB の SD カードに対応したカードスロットを備えたパソコンの場合は、SD カードリーダーライターを接続する必要はありません。



- 2 付属の SD メモリーカードを SD カードリーダーライターに接続する



- 3 デスクトップにある「PC Viewer BU-DRS」アイコンをクリックする
専用ビューアソフトが起動します。



4 [フォルダ] をクリックする



5 「DRIVEREC4」と表示されているドライブを指定し、[OK] をクリックする

- ・[ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[DRIVEREC4] を選択しても同じ画面表示になります。



記録された映像を見る(イベント記録)

1 イベントタブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 [読み込み] をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・[ファイル] をクリックし [読み込み] から [イベント] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。

ファイル名について

ワンタッチ録画や衝撃を検知した日付、時間がファイル名となります。

2010. 08. 20 19 : 21 : 12 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ (映像を記録するきっかけ)

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急加減速」「急ハンドル」、録画ボタンを押して記録した場合は「スイッチ」と表示されます。

※ スイッチ以外のトリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	メニューバー	各種メニューバー
		 フォルダを指定します。
		 静止画に変換します。
		 印刷をします。
		 動画に変換します。
		 データのバックアップをします。
		 ログデータに変換します。
		 記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。 カメラ1、カメラ2、カメラ3、後方の映像を表示します。
③	表示切替ボタン	シングルチャンネル16分割画面、マルチチャンネル画面に切り替えます。
④	音量表示	ミュート、音量を調整します。
⑤	走行速度表示	GPSまたは車速信号線からの走行速度を表示します。 ※オプション OP-SYUP7を使用した場合は、車速信号線からの情報も検出できます。
⑥	ブレーキ、ウインカー表示	ウインカー(右左)とブレーキの状態を表示します。 ※オプション OP-SYUP7を使用した場合に表示します。
⑦	加速度表示	X方向：赤色、Y方向：黄緑色、Z方向：青色で表示します。
⑧	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑨	再生ボタン	再生や早送りなどの操作を行います。
⑩	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑪	カーソル	加速度センサーグラフ内での再生位置を表示します。
⑫	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑬	Google Maps表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、Google Mapsは表示されません。
⑭	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。

4 再生する

▶ ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生を行います。

● 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



・[再生]をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止]をクリックすると、クリックした動作を行います。

・記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生]や[早戻し]のボタンをクリックしてください。

● ◀▶ や ◀▶▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変えることができます。

・◀▶ を1回クリックすると1倍速(通常速度)、2回クリックすると0.5倍速(スロー)で[再生]または[逆再生]できます。

・◀▶▶▶ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

● カーソル上で右クリックをすると、カーソルが先頭(衝撃検知の15秒前)に移動します。

● □ ボタンをクリックするとシングル画面表示、◻ ボタンをクリックすると16分割画面表示に切り替えることができます。

● ≡ ボタンをクリックすると、選択した画面のみ表示します。

画面左上(カメラ1)、右上(カメラ2)、左下(カメラ3)、右下(後方)が表示されます。

・[表示]をクリックして[画面表示]から[シングルチャンネル][シングルチャンネル16分割][マルチチャンネル]をクリックしても、同様に画面表示を切り替えることができます。

・[シングルチャンネル]をクリックすると[カメラ1]、[カメラ2]、[カメラ3]、[後方]の切り替えができます。



マルチチャンネル画面表示

シングルチャンネル
16分割画面表示

カメラ1、カメラ2、カメラ3、後方より選択した1画面を16分割して表示します。

● 車速、ウインカー、ブレーキ情報

※ オプションの OP-SYUP7 接続時に、ウインカーやブレーキランプ、車速パルス信号が記録できます。



車速信号線（車速パルス）の情報で速度を表示すると、速度表示の右上に  が表示されます。

車速	GPSからの情報やオプションOP-SYUP7からの情報で車両の速度を表示します。 通常GPSからの情報で速度を表示し、トンネルなどGPSの電波を受信できない場合、車速信号線からの情報で速度を表示します。
ウインカー	ウインカーを出したことがウインカー表示部の点滅で確認できます。
ブレーキ	ブレーキを踏んだことがブレーキ表示部の点灯で確認できます。

加加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度（縦軸）と時間（横軸）でグラフ表示します。

- 加加速度センサー表示は  ボタンをクリックすると加加速度センサースケールが拡大、 ボタンをクリックすると加加速度センサースケールが縮小します。

 ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- ・ [表示] → [加加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小 1] [縮小 2] を選択、操作しても同様の動作となります。



記録された映像を見る（連続記録）

1 連続タブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

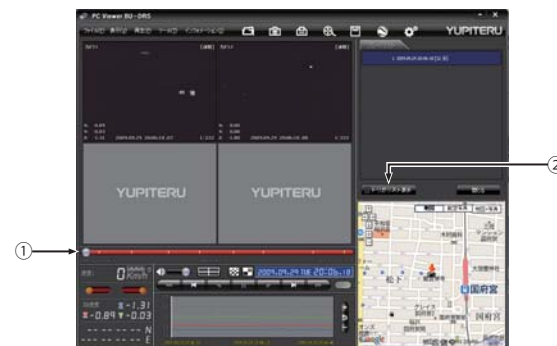
- ・ 選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 [読み込み] をクリックする

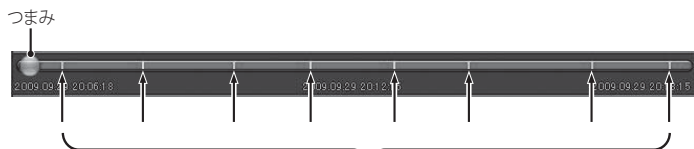
- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [連続記録] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。 黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	連続録画中のイベント位置 (衝撃検知位置やワンタッチ録画位置) を表示します。

- つまみをスライドさせ  ボタンをクリックすると、その場所から再生できます



連続記録中に、イベント（衝撃検知や録画ボタン操作）での記録があった場所を表示します。

-  トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。



静止画記録を見る

1 静止画タブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 「読み込み」をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれ、静止画の表示と音声再生されます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像と音声が表示、再生されます。
- ・[ファイル] をクリックし [読み込み] から [静止画] をクリックしても同じ画面表示になります。

※一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



記録した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

バックアップ

SD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データの削除 (P.42 ページ) を行ってください。

- 1 ファイル名の一覧より、保存したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、[読み込み] をクリックする

- 2  (バックアップ) をクリックする

- ・読み込まれたファイルが表示されます。
- ・[ツール] をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。

- ☐ 全てバックアップ
- ☒ を入れると SD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。



- 3 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

- 4 保存が完了すると、「バックアップ完了」と表示される

[OK] をクリックするとバックアップの画面に戻ります。バックアップ用に作成したフォルダ内に [audio]、[ch1]、[ch2]、[ch3]、[ch4]、[log]、[memo] の 7 つのフォルダが作成されます。

- 5 終了するときは [閉じる] をクリックする

バックアップしたファイルはデータフォルダの参照よりバックアップを選択すると確認できます。

動画変換

記録されたファイルを AVI 形式の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像を見る

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver9.0 以上で再生できます。

- 1 ファイル名の一覧より、動画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、[読み込み] をクリックする

- 2  (動画変換) をクリックする

・[ツール] をクリックし、[動画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

- 3 お好みのファイル名や保存先、コマ数を指定し、[スタート] をクリックする

画質

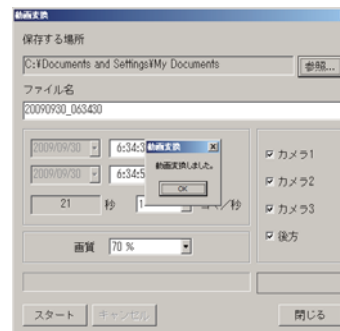
動画変換時の画質を選択できます。
[10%]～[100%]
10%単位で選択できます。
100%に近づくほど高画質な映像になり、保存するファイル容量が大きくなります。



- 4 保存が完了すると、「動画変換しました」と表示される

[OK] をクリックすると動画変換の画面に戻ります。指定した保存先に *.avi ファイルが保存されます。

※ * 部には、映像を記録した日時か、指定した名称が入ります。



- 5 終了するときは [閉じる] をクリックする

📷 静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、「表示中の画像」または「範囲を指定」を選択します。

静止画変換した映像を見る

静止画変換し、JPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

1 ファイル名の一覧より、静止画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒を入れ、「読み込み」をクリックする

2 📷（静止画変換）をクリックする

・[ツール]をクリックし、「静止画変換」をクリックしても同じ画面表示になります。

3 [表示中の画像]、または[範囲を指定]を選択し、お好みの保存先を指定し、[OK] をクリックする

● 表示中の画像

シングル画面表示で静止画変換を行った場合は1枚、16分割画面表示から静止画変換を行った場合は、表示されている16画面の映像すべてを静止画に変換できます。



● 範囲を指定

・表示エリアの映像日時が表示されます。
指定した日時の映像が静止画として作成できます。

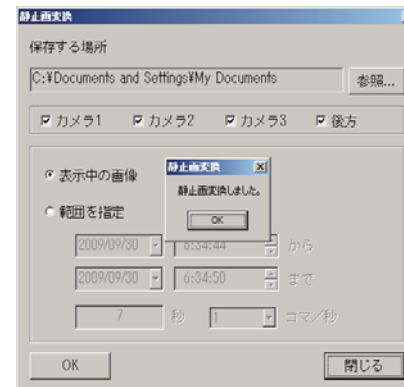
<コマ / 秒>

事故直後の詳しい画像や動きの早い映像をコマ送りのように確認したい場合は「コマ / 秒」を大きくしてください。

・保存される静止画はコマ数×秒数×カメラの数になります。

4 保存が完了すると、「静止画変換しました。」と表示される

[OK] をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。



5 終了するときは[閉じる] をクリックする

記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1 ファイル名の一覧より、印刷したい映像ファイル名をクリックし、☒を入れ、「読み込み」をクリックする

2 🖨️（印刷）をクリックする

・[ファイル]をクリックし、「印刷」をクリックしても同じ画面表示になります。

3 表示中の静止画すべてまたはコマ数指定（選択した静止画から）を選択する

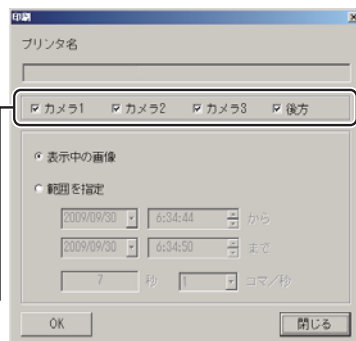
● 表示中の画像

表示エリアの映像を印刷します。16分割画面で表示されているときは、表示されている16枚の印刷を行います。

● 範囲を指定

日付とコマ数を選択します。

☐ に ☒ を入れた映像が印刷の対象となります。



4 [OK] をクリックする

印刷画面が表示されます。



1コマ表示例



4コマ表示例

● 印刷

画面左上の[印刷]をクリックすると、印刷が行えます。

● プリンタ設定

印刷するプリンタの設定を行います。

● 1コマ表示

1枚に1コマの映像データを表示します。

● 4コマ表示

1枚に4コマの映像データを表示します。

● 前ページ

一つ前のページに戻ります。

● 次ページ

1コマ表示で、カメラ2やカメラ3や後方の映像がある場合、次のページを表示します。

5 終了するときは[閉じる]をクリックする

履歴を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本機の電源が入っている間、GPS 測位によって約1秒ごとに自転車位置を記憶し、合計で最大約480時間分までの履歴（日時・位置・速度・加速度）を履歴（ログデータ）としてSDカードに保存します。

※ GPS 測位できない場合は、自転車位置を記録できません。

※ 合計時間が設定時間（● 40ページ）を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

※ 履歴（ログデータ）を作らないようにすることはできません。

1 履歴タブをクリックする



2 ファイル名の一覧より、見たい履歴のファイル名をクリックする

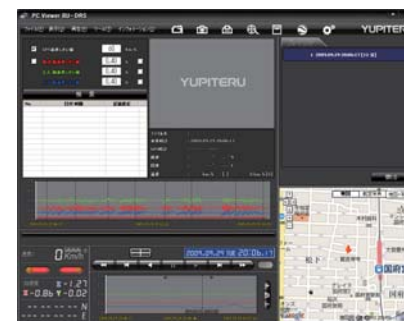
- ・ 選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した履歴が読み込まれます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [履歴] をクリックしても同じ画面になります。

※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



● 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	検索	速度や加速度の値を設定し、検索することができます。
②	ファイル情報(ファイル名、本体時計、GPS時計、緯度、経度、速度)	映像の記録日や緯度・経度などの情報を表示します。

● 検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃(加速度)の映像を検索でき、ファイルとして表示します。

☒ 速度検索値 Km/h
☐ 加速度しきい値 X ±
☐ 加速度しきい値 Y ±
☐ 加速度しきい値 Z ±

No.	日時時刻	トリガ
1	2010.07.23 12:37:31	連続
2	2010.07.23 12:37:46	連続
3	2010.07.23 12:40:54	連続
4	2010.07.23 12:42:44	連続
5	2010.07.23 12:42:53	連続
6	2010.07.23 12:42:55	連続
7	2010.07.23 12:42:59	連続

速度検索値	検索する走行速度を設定します。
加速度しきい値 X ±	検索したい前後方向の値を設定します。
加速度しきい値 Y ±	検索したい左右方向の値を設定します。
加速度しきい値 Z ±	検索したい上下方向の値を設定します。

- ・ ☐ に ☒ を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・ 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

● ファイル情報

読み込まれたファイル名、本体時計、GPS 時計、緯度、経度、速度[進行方向]を表示します。

ファイル名	: 2,2010.07.23,12.36.20
本体時計	: 2010.07.23 12:41:54
GPS時計	: 2010.07.23 12:41:56
緯度	: 35° 00' 05.78" N
経度	: 137° 10' 03.94" E
速度	: 47 km/h [北]

- ・ 本体時計…本機に内蔵されている時計(日時)
履歴や映像ファイル名に本体時計の時間が用いられます。
- ・ GPS 時計…GPS の電波により取得した日時を表示します。

Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴ファイルを KML ファイルに変換できます。変換した KML ファイルを使って、GoogleEarth 上で全走行ルートの表示やドライブ中にワンタッチ録画で記録した映像の静止画を表示、保存できます。

※ あらかじめ Google Earth のホームページより Google Earth をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

※ Google Earth のご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1 履歴タブをクリックする

2 変換したい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。
- ・ [ファイル] をクリックし、[読み込み] から [履歴] を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
- ・ [ファイル] → [読み込み] [履歴] を選択しても同様の動作となります。
- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

3 (ログデータ変換) をクリックする

- ・ [ツール] → [ログデータ変換] を選択しても同様の動作となります。

4 保存する場所とお好みのファイル名を指定し、ポイント、ルートを設定し、スタートをクリックする

- **ポイント**（ログファイルデータの点による位置を表現します）

GPS 測位による 1 秒間隔の自転車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

- ・ **変換するポイントの密度**：（1 ～ 30）

Google Earth に表示させる自転車位置の間隔を秒数（1 ～ 30）で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く（広く）なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

- **ルート**（ログファイルデータの線分図形を表現します）

走行軌跡を線で表示します。

- ・ **幅**：（1 ～ 10）

走行軌跡表示の幅を設定します。

- ・ **透明度**：（0 ～ 255）

走行軌跡表示の透明度を設定します。

0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

- ・ **色**

走行軌跡表示の色を設定します。

- **Google Earth 起動**

ログファイル保存完了後、Google Earth を自動で起動します。



5 ログファイル保存完了が表示されるので、[OK] をクリックする

Google Earth 起動に ☒ を入れると、ログファイル保存完了後、Google Earth が起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡は Google Earth 上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

6 [閉じる] をクリックする

ログデータ変換が終了します。

設定を変更する

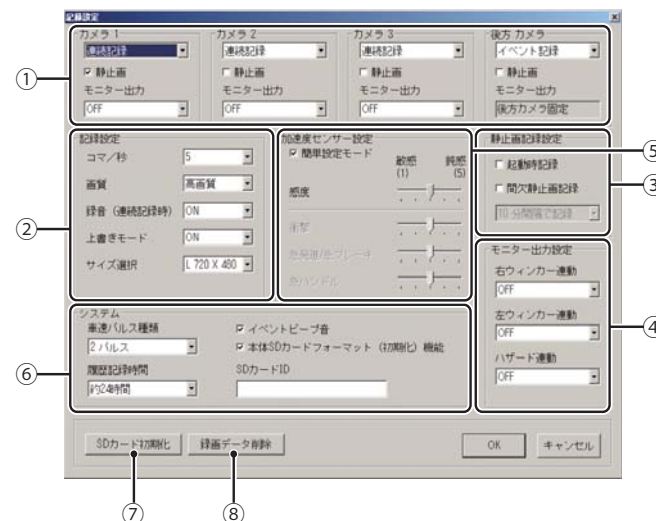
設定を変更する前に、BU-DRS シリーズの設定変更をする場合、[ツール]→[機種選択]→[BU-DRS シリーズ]、DRY-S シリーズの設定変更をする場合、[ツール]→[機種選択]→[DRY-S シリーズ]を選択してください。

記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化や録画データのバックアップ、SD カードからの録画データの削除を行うことができます。

・ [ツール] をクリックし [記録設定] をクリックしても同じ画面表示になります。

設定変更を行う場合は必ず SD カードを SD カードリーダーに接続してご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。SD カードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。



① カメラ設定

- **カメラ 1**

記録するモードを選択できます。

[連続記録][イベント記録]から選択できます。

連続記録	エンジン停止直前までの映像をSDカードに記録します。工場出荷時の設定(カメラ1台、高画質、10コマ/秒、サイズL)で、付属のSDカード(2GB)に約2時間の連続記録が可能です。
イベント記録	衝撃を検知した場合に映像を記録します。

・静止画

☐に✓を入れると、静止画撮影が有効になります。

・モニター出力

※ この機能を使うには、別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" が必要です。

TV モニターに映像を出力するモードを選択できます。

[OFF][カメラ 1][マルチチャンネル] から選択できます。

OFF	リモコンによる複数カメラの切り替えができます。◀ 47ページ
カメラ1	カメラ1の映像を出力する。 ※ リモコンによるカメラ切り替え不可
マルチチャンネル	4分割画面に映像を出力する。 ※ リモコンによるカメラ切り替え不可

※ 別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" を使用して、複数のカメラからの映像を切り替えたい場合は、「OFF」に設定してください。

● カメラ 2

オプションの増設カメラを使用する場合の設定です。

[OFF][連続記録][イベント記録] から選択できます。

・静止画

☐に✓を入れると、静止画撮影が有効になります。

・モニター出力

※ この機能を使うには、別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" が必要です。

TV モニターに映像を出力するモードを選択できます。

[OFF][カメラ 2][マルチチャンネル] から選択できます。

※ 別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" を使用して、複数のカメラからの映像を切り替えたい場合は、「OFF」に設定してください。

● カメラ 3

オプションの増設カメラを使用する場合の設定です。

[OFF][連続記録][イベント記録] から選択できます。

・静止画

☐に✓を入れると、静止画撮影が有効になります。

・モニター出力

※ この機能を使うには、別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" が必要です。

TV モニターに映像を出力するモードを選択できます。

[OFF][カメラ 3][マルチチャンネル] から選択できます。

※ 別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" を使用して、複数のカメラからの映像を切り替えたい場合は、「OFF」に設定してください。

● 後方カメラ

オプションのリヤビューカメラ (YP-BC2) を使用する場合の設定です。

[OFF][連続記録][イベント記録] から選択できます。

・静止画

☐に✓を入れると、静止画撮影が有効になります。

・モニター出力

※ この機能を使うには、別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" が必要です。

[後方カメラ固定] になります。

記録形式変更時の注意

すでに SD カードに記録した記録データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([連続記録]から[イベント記録]の変更など)は、SD カードに記録されている記録データをいったん削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。設定を変更する場合は、SD カードに記録している記録データをパソコンなどにバックアップしてください。(▶ 26 ページ)いったん削除した記録データは、元に戻せませんのでご注意ください。

② 記録設定

● コマ / 秒

1 秒間に記録する映像のコマ数を選択します。

使用条件(オプションの追加カメラの使用)によって、選択できるコマ数が変わります。

- ・付属カメラのみ使用の場合…………… [1]、[5]、[10]、[15]、[30]から選択します。
- ・オプションのカメラを1つ追加している場合… [1]、[5]、[10]、[15]から選択します。
- ・オプションのカメラを2つ追加している場合… [1]、[5]、[10]から選択します。
- ・オプションのカメラを3つ追加している場合… [1]、[5]から選択します。

※ 工場出荷時は[10]に設定されています。

オプションカメラ使用時の注意

- ・オプションカメラ増設時に、カメラ設定で「連続記録」「イベント記録」を混在して設定した場合、「連続記録」の記録コマ数は1コマ/秒に固定されます。
- ・「連続記録」「イベント記録」を混在して設定した場合、記録設定の「コマ/秒」は「イベント記録」のコマ数を表示しています。
- ・「コマ/秒」以外の記録設定の項目は、「連続記録」「イベント記録」共通です。

● 画質

記録する映像の画質を選択できます。
[低画質]または[高画質]から選択します。
工場出荷時は[高画質]に設定されています。

● 録音(連続記録時)

連続記録の録音動作を選択できます。
[ON]または[OFF]から選択します。
工場出荷時は[ON]に設定されています。
※ イベント記録、静止画記録の録音動作は、常時 ON となり、変更できません。

● 上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの映像の保存方法を選択できます。
[ON]または[OFF]から選択します。

・ 上書きモードが ON の場合

…SD カードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。

・ 上書きモードが OFF の場合

…容量がいっぱいになると映像は保存されません。

工場出荷時は「ON」に設定されています。

● サイズ選択

M720x240 と L720x480 から選択します。

③ 静止画記録設定

● 起動時記録

☐に✓を入れると、起動時に静止画を自動的に記録します。

● 間欠静止画記録

設定した間隔で静止画を自動記録します。

- ・ 5 分間隔で記録
- ・ 10 分間隔で記録
- ・ 15 分間隔で記録
- ・ 30 分間隔で記録

④ モニター出力設定

※ この機能を使うには、別売品の AV 出力ケーブル "OP-23" および、システムアップセット "OP-SYUP7" が必要です。
※ この機能は、各「カメラ設定」の「モニター出力」が「OFF」の場合に有効になります。(● 36 ページ)

● 右ウィンカー連動

右ウィンカーに連動して、選択したカメラの映像をカーナビなどの TV モニターに出力できます。
[OFF][カメラ 1][カメラ 2][カメラ 3][マルチチャンネル]から選択できます。

OFF	映像出力しません。
カメラ1~3	カメラ1~3の映像を出力する。
マルチチャンネル	4分割画面の映像を出力する。

● 左ウィンカー連動

左ウィンカーに連動して、選択したカメラの映像をカーナビなどの TV モニターに出力できます。
[OFF][カメラ 1][カメラ 2][カメラ 3][マルチチャンネル]から選択できます。

● ハザード連動

ハザードに連動して、選択したカメラの映像をカーナビなどの TV モニターに出力できます。
[OFF][カメラ 1][カメラ 2][カメラ 3][マルチチャンネル]から選択できます。

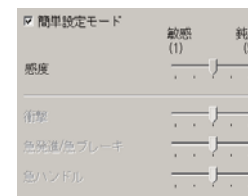
⑤ 加速度センサー設定

● 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。
鈍感～敏感までの 5 段階から設定できます。工場出荷時は中央に設定されています。

- ・ 感度を高く設定する(鈍感→敏感)……衝撃感度が敏感になります。
- ・ 感度を低く設定する(敏感→鈍感)……衝撃感度が鈍感になります。
※ 車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの ☒ をはずすと衝撃、急発進/急ブレーキ、急ハンドルの各感度を鈍感～敏感までの 5 段階から個別に設定できます。



- ・ 加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴り録画ランプが点滅)しすぎる場合は、感度を低くしてください。
- ・ 感度を高くした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・ 動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

⑥ システム

● 車速パルス種類

※ オプションの OP-SYUP7 を使用している場合に設定します。

車両の車速信号線に接続をしている場合に設定を選択できます。

車両のパルス信号を選択します。

[初期化]、[2 パルス]、[4 パルス]、[8 パルス]、[16 パルス]、[20 パルス]、[25 パルス] から選択します。

- ・ 初期化 30km/h から 60km/h で 60 秒間走行すると、自動的にパルスを判断し、本体からブザー音（ピーピーピー）が鳴り自動設定されます。通常はこちらでご使用ください。
- ・ 2、4、8、16、20、25 パルス 選択したパルス固定となります。
印刷画面 (● 29 ページ) を表示させ、速度 (GPS 値) と速度 (車速パルス) の値が、近い値となるようにパルス数を選択してください。

工場出荷時は [初期化] に設定されています。

※ SD カードの各種設定変更時には車速パルス設定の変更をしないでください。

● 履歴記録時間

履歴を記録する時間を設定できます。

[約 24 時間]、[約 168 時間]、[約 480 時間] から選択できます。

● イベントビーブ音

イベント記録時の警報ブザーの ON/OFF を設定できます。

☐ の ☒ を外すと、警報ブザーが鳴らなくなります。

● 本体 SD カードフォーマット (初期化) 機能

本機側での本体 SD カードのフォーマット (初期化) を制限できます。

☐ の ☒ を外すと、本機側での SD カードのフォーマット (● 45 ページ) が出来なくなります。

● SD カード ID

SD カード ID を設定できます。

SD カード ID と本機 ID をログに書き込むことで SD カードと本機の管理に役立てることが出来ます。

各設定を終えたら [OK] をクリックします。

「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK] をクリックしてください。

⑦ SD カード初期化

一度 SD カード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ビューアソフトで行ってください。

※ 必ず 2GB に対応した SD カードリーダーライターや 2GB に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。2GB に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

・ [ツール] をクリックし、[SD カード初期化] をクリックしても同じ画面表示になります。

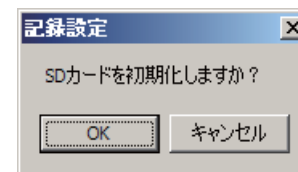
1 [SD カード初期化] をクリックし、SD カードのフォルダ (DRIVEREC4) を選択する



2 [OK] をクリックする

右の確認メッセージが表示され、[OK] をクリックします。

中止をする場合は、[キャンセル] をクリックします。



3 フォーマットの設定をし、[スタート] をクリックする

フォーマット画面が表示されます。

☒ クイックフォーマット

短時間でフォーマットを行います。

☒ 記録設定データを維持

SD カードの初期化を行っても、記録設定のデータを保持します。

☒ をはずすと工場出荷時の設定内容に戻ります。

※ 記録されたデータは削除されます。



4 「フォーマット完了」が表示される

[OK]をクリックしてください。

5 「SD カード初期化完了」が表示される

[OK]をクリックすると記録設定画面に戻ります。

⑧ 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると「録画データ削除」と「記録設定データ初期化」が選択画面に表示されます。

● 録画データ削除

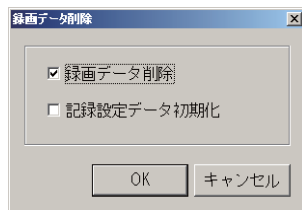
録画されたデータのみ削除します。

いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。録画した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(➡ 26 ページ)

1 「録画データ削除」をクリックする

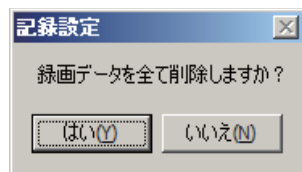
2 録画データ削除に ☒ を入れ、[OK]をクリックする

「録画データを全て削除しますか？」と表示されます。



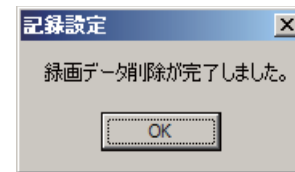
3 「はい」をクリックする

録画データの削除が完了します。



4 「OK」をクリックする

記録設定画面に戻ります。

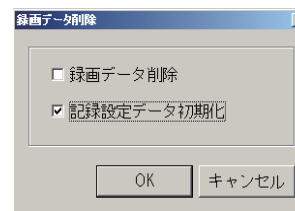


● 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

1 記録設定データ初期化に ☒ を入れ、[OK]をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



2 「OK」をクリックする

記録設定画面に戻ります。



インフォメーション

● バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

● ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

・画面右上の **YUPITERU** をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

本機での SD カードフォーマットについて

SD カード内のデータを消去したいときにフォーマットを行います。また、初期化 (● 41 ページ) を行っても、読み込みや書き込みが正しくできない場合、フォーマットをお試ください。

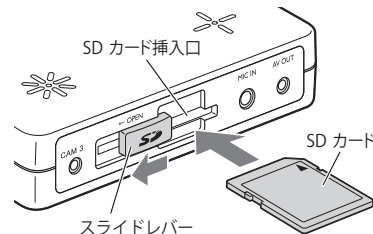
※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

※ 本機でフォーマットを行うと専用ビューアソフトは消去され復元しません。専用ビューアソフトをインストールするまでフォーマットしないでください。

1 付属の SD カードが挿入されていることを確認する

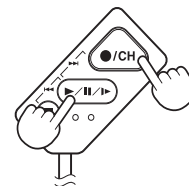
付属の SD カードが挿入されていないときは、電源が切れていることを確認して、付属の SD カードを挿入してください。

※ SD カード挿入後はスライドレバーをロックするまでスライドさせてください。



2 リモコンの録画ボタンと再生ボタンを同時に押しながら、エンジンを始動する (初期化準備中)

しばらくすると、ブザー音 (ピーピーピー…) が約 30 秒間鳴ります。上書きランプ (赤) が点滅します。



※ 本機で SD カードのフォーマットを行うと、SD カード内の専用ビューアソフトやデータは削除されます。専用ビューアソフトのバックアップ (● 16 ページ) や記録した映像を保存 (● 26 ページ) しておきたい場合は、パソコンなどの別の場所に保存してください。

※ 専用ビューアソフトの「本体 SD カードフォーマット (初期化) 機能」 (● 40 ページ) で ☐ の ☒ を外してあると、本機側で SD カードのフォーマットはできません。

3 ブザー音 (ピーピーピー…) が鳴っている間に、再度リモコンの録画ボタンと再生ボタンを同時に 2 秒以上押す (初期化の開始)

録画ランプ (青) と上書きランプ (赤) が点滅します。点滅が消灯に変化すると初期化終了です。

記録映像を見る

(オプション AV 出力ケーブル OP-23 を使用)

記録した映像をカーナビやカーテレビのモニターで見る

オプションの AV 出力ケーブル (OP-23) を使い RCA 外部入力端子の接続が可能なカーナビやカーテレビで記録した映像を見ることができます。

※ RCA 外部入力端子を備えたカーナビやカーテレビ、モニターが必要です。

※ 映像再生中に、録画することはできません。



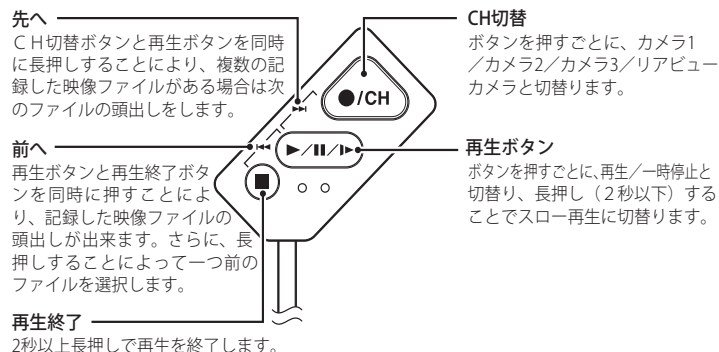
1 オプションの AV 出力ケーブル (OP-23) をモニターの RCA 外部入力端子に接続する

2 エンジンを始動 (ACC を ON) にする

3 カーナビやカーテレビを外部入力画面 (ビデオ入力など) にする

4 リモコンの (CH) ボタンを長押し (2 秒以上) する

モニターに記録した映像が表示されます。下記、リモコン操作で映像を再生できます。



5 リモコンの (CH) ボタンを長押し (2 秒以上) する

再生が終了します。録画記録できる状態に戻ります。

カメラ切り替えと設定内容の確認

(オプション AV 出力ケーブル OP-23 を使用)

表示するカメラを切り替えたり、設定内容をカーナビやテレビ、モニターで見ることができます

モニター表示するカメラを切り替えたり、現在の設定内容をカーナビやカーテレビのモニター上で確認できます。

※ カメラ切り替えは、各「カメラ設定」の「モニター出力」が「OFF」の場合に有効になります。(P.36 ページ)

※ モニター上に表示されている設定内容をリモコン操作で変更することはできません。設定内容の変更は、本体から SD カードを取り出し、専用ビューアソフトをインストールしているパソコンから行ってください。(P.13 ページ)

※ 30 秒間何も操作がない場合、設定内容の表示画面が終了し、録画記録できる状態に戻ります。



1 オプションの AV 出力ケーブル (OP-23) をモニターの RCA 外部入力端子に接続する

2 エンジンを始動 (ACC を ON) にする

3 カーナビやカーテレビを外部入力画面 (ビデオ入力) にする

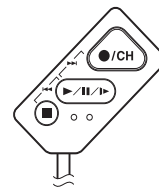
4 リモコンの (CH) ボタンを押す

モニターに本機の設定内容が表示されます。

・リモコンの (CH) ボタンを押すとカメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、マルチチャンネルの順に、映像と設定内容の表示が切り替わります。

※ REAR (リアビューカメラ) の設定内容には切り替わりません。

※ 設定内容を表示中も、衝撃検知やリモコン操作による記録、設定による連続記録は行われます。



5 リモコンの (CH) ボタンを押す

設定内容の表示が消え、選択したカメラの映像が映し出されます。

再度、設定内容を表示する場合は、(CH) ボタンを押します。

加速度センサーの設定(初期化)

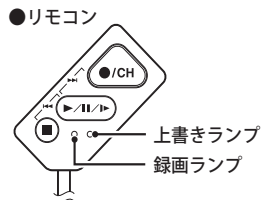
本機(本体)の設置場所を変更したり、別の車両に寄せ替えを行った場合、加速度(衝撃)センサーの設定(初期化)を行ってください。

(新たな設置場所でセンサーの設定を行うことで、正確な衝撃の検知が行えます)

※ 設定操作は、車両を走行させるため、あらかじめ広い場所で行ってください。

※ 設定操作が 30 秒以上ない場合、設定内容を無効として通常モードに戻ります。

※ オプションの AV 出力ケーブル(OP-23)を使用し、カーナビなどと接続している場合、モニターに操作手順を表示させることができます。



リモコンのランプ、本体のブザー音で動作確認を行います。

モニター使用の場合は、モニターの表示内容(下記 部分)に従い操作を行います。

1 リモコンのシャッターボタン [] を押しながらエンジンを始動する

① 上書きランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯(約 10 秒)

リモコンのシャッターボタン [] を放します。



② 上書きランプ(赤)、録画ランプ(青)が点滅(約 15 秒)



③ 上書きランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯(数秒)



④ 上書きランプ(赤)のみ点滅
ブザー音(ピーピーピー...)が鳴る

・ブザー音は「0.3 秒吹鳴」、「0.3 秒 休止」を繰り返します。

加速度センサーの初期化を行います。
車両が水平となる位置で停止し、録画ボタンを押してください。
前方数mの空き地が必要です。

2 リモコンの録画ボタン [] を押す (走行準備)

操作後、上書きランプ(赤)が早い点滅(0.1 秒間隔)を始めます。

加速度センサーの初期化を実行中です。
ブザー音が鳴るまで前方へ直進してください。

3 ブザー音(ピー...)が鳴るまで、加速する (走行→停止)

※ 周囲の安全を確認してから動かしてください

● 設定が正常に行えた場合

検知後、上書きランプ(赤)と録画ランプ(青)が 0.5 秒間隔で点滅します。

・ブザー音(ピー...)が約 6 秒間鳴ります。

加速度センサーの初期化を終了しました。
エンジンを切り再起動してください。

※ ブザー音(ピー...)が鳴る前に減速をすると、減速を加速と誤認識して初期化されてしまうことがあります。減速時にブザー音(ピー...)が鳴った場合は、正常終了画面が表示されていても、設定をやり直してください。

● 設定ができなかった場合

検知後、上書きランプ(赤)と録画ランプ(青)がブザー音と同じ早さで点滅します。

・ブザー音(ピーピーピー...)は「0.5 秒吹鳴」、「0.5 秒休止」を繰り返します。

加速度センサーの初期化ができませんでした。
もう一度、車両が水平となる位置で停止し、録画ボタンを押してください。
前方数mの空き地が必要です。

※ もう一度 ④ の手順からやり直してください。

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の 24 個の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴 (1 秒ごとに自車位置記憶し、合計して最大約 480 時間分) の保存ができます。

1 車のエンジンを始動します。

本機の電源が入ると、GPS 測位機能が働きます。

通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

●TVによるGPS測位障害について

車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	・ 電源配線のヒューズが切れていないか確認してください。 切れている場合は、同じ容量 (3A) の新しいヒューズと交換してください。
映像が記録できない	・ 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。 ・ 記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。 (☛ 38 ページ)
パソコンで記録した映像が見られない	・ 専用ビューアソフトがインストールされていますか。 ・ 2GBに対応したSDカードリーダーライターを使用していますか
電源投入後、本体から『ピーーーー』と鳴る	・ 付属SDカードが挿入されていますか。
電源投入後、本体から『ピーピー…』と鳴る	・ カメラは接続されていますか。 専用ビューアソフトの「カメラ設定」で、実際に接続されていないカメラを「OFF」以外に設定した場合や、「静止画」にチェックを入れた場合、本機の電源 ON 時にエラー音が継続します。 接続していないカメラには、記録モードや静止画記録の設定をしないようご注意ください。

電源電圧	DC 12V/24V(マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	カラーCMOS
視野角	左右131°、上下96°
画素数	30万画素
最低被写体照度	1LUX (ルクス)
画像画質	高画質・低画質
画面サイズ	サイズ L : 720 × 480 サイズ M : 720 × 240
記録媒体	SDカード(2GB付属)
記録形式	MPEGまたはJPEG
フレームレート	・連続記録 30・15・10・5・1コマ/秒 ・イベント記録 30・15・10・5・1コマ/秒 1件当たり20秒(前15秒、後5秒)
動作温度範囲	−10℃ ～+60℃
外形寸法	・本体 : 100(W) × 70(H) × 21(D) mm(突起部除く) ・カメラ : 31(W) × 34(H) × 24(D) mm(突起部除く) ・GPSアンテナ : 43(W) × 43(H) × 12(D) mm(突起部除く) ・リモコン : 20(W) × 40(H) × 10(D) mm(突起部除く)
重量	・本体 : 約93g ・カメラ : 約119g(ブラケット含む) ・GPSアンテナ : 約57g(突起部除く) ・リモコン : 約36g(接続ケーブル含む)

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
 なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

連続記録時間とイベント記録件数表

●連続記録時間の目安	2GB	16GB
30 コマ / 秒・サイズ L・高画質	約 1 時間	約 9 時間
1 コマ / 秒・サイズ M・低画質	約 13 時間	約 130 時間

●イベント記録件数の目安	2GB	16GB
30 コマ / 秒・サイズ L・高画質	約 60 件	約 600 件
10 コマ / 秒・サイズ M・低画質	約 450 件	約 3,000 件

※ 上記値は目安で、絶対保障値ではありません。
 ※ 被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

●下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

●紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036